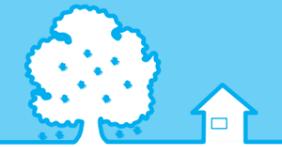




栗山が誇る老舗「北の錦」小林酒造と「日本一きびだんご」谷田製菓が織りなす一大イベント「くりやま老舗まつり」が4月9日、10日の両日行われました。2日間で町内外から約3万人が来場。小林酒造の「第28回酒蔵まつり」会場では、この日だけの限定酒の試飲や販売、国の登録有形文化財である酒蔵の一般開放などが行われ賑わいました。谷田製菓の「第18回きびだんごまつり」会場では、きびだんごの試食のほか、きびだんご工場内部が開放され、昔ながらの製法できびだんごが出来上がるまで多くの方が見学していました。駅前通りのまちの駅「栗夢プラザ」では「本格手打ちそばまつり」、株式会社スイテック特設会場では「ふるさと田舎まつり2016」が同時開催。さらに、天然温泉くりやまでは、小林酒造の酒粕を使った「吟醸酒風呂」も開催されました。

# くりやま老舗まつり





## 町民に頼られるベンチ 栗山町技能協会が寄贈

栗山町技能協会が奉仕活動の一環として歩道ベンチ7基を寄贈しました。高齢者や身体の不自由な方に利用してもらおうと同協会が平成9年より設置。今回の寄贈で歩道ベンチは15基になりました。今年3月に提供された木材を使い、4日間かけて作成。4月12日、寄贈式が松栄団地バス停留所前で行われ、山崎信治会長は「多くの方に使っていただきたい」と話し、椿原紀昭町長は「長年のご協力に感謝します」とお礼を述べました。



## ハサンベツ里山 カエル・サンショウウオの産卵調査

ハサンベツ里山地区で4月17日、エゾアカガエルとサンショウウオの産卵調査が行われました。全国で7カ所ある環境省の「モニタリングサイト1000」コアサイトの1カ所としてハサンベツ里山地区が指定され、例年、里地調査を実施。当日は、16人が参加し、エゾアカガエルの卵438塊とサンショウウオの卵340塊を確認しました。NPO法人雨煙別学校スタッフの諸橋淳さんは「アライグマなどの影響で産卵数が減少しているかもしれません」と話していました。

## 完売！熟成鹿肉 ソーセージの試験販売

エゾシカの肉を使った「熟成鹿肉ソーセージ」の試験販売が4月9日と10日の2日間、まちの駅「栗夢プラザ」で行われました。ソーセージは、町内で捕獲したエゾシカを解体・熟成させ、株式会社アルデバラ（飯田大起代表取締役会長）が商品化。会場には販売時間前から多くの方が購入に訪れ、用意していた150袋が完売となりました。購入した松明千代子さん（中央4）は「町の活性化のためにも商品化してもらえれば」と話していました。



## 美しい環境を維持 工業団地協議会がポイ捨てごみを清掃

工業団地内の道路周辺をきれいにしようと4月15日、栗山工業団地企業協議会が清掃作業を行いました。毎年春と秋の2回行われ、この日は35人が参加。国道234号線沿いを含めた広い団地内を手分けし、1時間ほどかけて、雪解けとともに姿を現したごみを回収しました。また、ごみ投げ捨て禁止の看板も設置され注意を呼びかけています。人目を盗んだ「ポイ捨て行為」が後を絶ちません。美しい環境を維持するためにも、皆さんのご協力をお願いします。



## サケ遡上に願いを込めて 稚魚放流会

夕張川自然再生協議会が主催する「サケ稚魚放流会」が夕張川支流の雨煙別川で4月2日に行われました。一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長から栗沢頭首工魚道「サーモンロード」の効果と遡上してきたサケなどの調査報告を行い、その後、昨年12月から「サケの里親」として卵の段階から育ててきたご家族や、町内外から訪れた親子連れなど約100人がサケの稚魚約8000匹を「たくさんのサケが戻ってくるように」と願いを込めて放流しました。



## 新入学児童の安全を願って 防犯ブザーと交通安全のお守り贈呈

4月6日、町内3小学校の入学式にあわせて、新1年生85人に防犯ブザーと交通安全のお守りが贈られました。交通安全のお守りは交通安全ゆりの会の皆さん手作りのお守りです。入学式で父母に手を引かれながら初登校した新1年生は、真新しいランドセルに、防犯ブザーとお守りを付けてもらいました。防犯ブザーと交通安全のお守りは、子どもたちが安全・安心に元気よく学校に通ってもらいたいとの願いが込められ、毎年新入学児童に贈られています。

## 地域に新しい風を 地域おこし協力隊委嘱状交付式

栗山町地域おこし協力隊の委嘱状交付式が4月1日に役場で行われました。この日は昨年度からの継続隊員6人と、新たに隊員となられた「くりやまちょうPR隊」3人、「農業支援員」2人に椿原紀昭町長から委嘱状が手渡されました。椿原町長は「外から見た新鮮な視点で地域に新しい風を吹き込んでいただくことを期待しています」とあいさつ。委嘱された金川綾華さんは「これまでの経験を生かして首都圏に栗山町をPRして人を呼びたい」と決意を述べました。



## 百歳祝記念品贈呈 朝日3丁目の稲葉フミノさん

稲葉フミノさんが100歳の誕生日を迎えた4月5日、長寿を祝い町から「百歳万歳」と書かれた記念時計が贈られました。花田正博副町長から「おめでとうございます。100歳になってもお元気ですね」と声をかけられた稲葉さんは笑顔でこたえていました。自宅で行われた贈呈式には、息子さんの稲葉幡男さん、ナシ子さん夫妻も同席。肌のつやが良く記憶力もあり、兄弟の名前も憶えているというしっかりしたおばあちゃん。いつまでも元気にお過ごしください。

